

<b>Course number</b>		G-LAS15 80021 LJ13    G-LAS15 80021 LJ12    G-LAS15 80021 LJ18					
<b>Course title (and course title in English)</b>		インフォメーションデザイン論 Information Design		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Informatics Professor, Takayuki ITO Academic Center for Computing and Media Studies Professor, NAKAMURA YUICHI	
<b>Group</b>		Interdisciplinary Graduate Courses		<b>Field(Classification)</b>		Interdisciplinary Courses	
<b>Language of instruction</b>		Japanese		<b>Old group</b>		<b>Number of credits</b> 2	
<b>Number of weekly time blocks</b>		1		<b>Class style</b>		Lecture (Face-to-face course)	
				<b>Year/semesters</b>		2025 ・ First semester	
<b>Days and periods</b>		Wed.5		<b>Target year</b>		Graduate students	
				<b>Eligible students</b>		For all majors	
( Students of Graduate School of Informatics cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department. )							
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>どんなに価値のある情報も、人間に対して効果的に伝達できなければ、意味が無い。情報を効果的に伝達するには、伝えたい情報を構造化し、人間にとって理解しやすい形に表現する必要がある。本講義では、情報デザインとは何かについて述べると共に、多様なメディアによる情報表現の方法論について講述する。具体的には、情報の構造化、ことばのデザイン、インタラクションデザイン、情報可視化、集合知、社会シミュレーション、交渉・議論のデザイン、情報の理解と信頼性といった話題について講述する。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
情報デザインの概念の理解、および、情報デザインのための各種手法・技術について理解し自ら使用できることを到達目標とする。							
<b>[Course schedule and contents]</b>							
<p>情報の組織化・構造化（1回）（伊藤）          社会制度の情報デザイン（2回）（伊藤）          ビジョンとスタートアップの情報デザイン（2回）（伊藤）          集合的知性の情報デザイン（2回）（伊藤）          議論と合意の情報デザイン（2回）（伊藤）          言語・広告の視点からの情報デザイン（2回）（中村）          ユーザインタフェースとインタラクションのデザイン（3回）（中村）          情報の理解と信頼性（1回）（中村）          フィードバック（1回）（中村）</p>							
<b>[Course requirements]</b>							
None							
<b>[Evaluation methods and policy]</b>							
<p>情報デザインの概念の理解、および、情報デザインのための各種手法・技術について理解し自ら初歩的にでも使用できることを到達目標とする。</p> <p>【成績評価の方法・基準】          以下を基準として評価する。          講義期間中に課す演習課題    30%程度</p>							
Continue to インフォメーションデザイン論(2)							

## インフォメーションデザイン論(2)

-----  
期末試験 60%程度  
授業への貢献（よい質問をすることなど） 10%程度

### [Textbooks]

田中 克己, 黒橋 禎夫 (編集) 『情報デザイン』 ( 共立出版 ) ISBN:4320006038

### [References, etc.]

( References, etc. )

下記「参考文献」参照。

- [1] 渡辺保史著：情報デザイン入門 インターネット時代の表現術，平凡社，2001年
- [2] 木村博之著：インフォグラフィックス 情報をデザインする視点と表現，誠文堂新光社，2010年
- [3] 今泉容子著：映画の文法 日本映画のショット分析，彩流社，2004年
- [4] D. A. ノーマン：誰のためのデザイン？ 認知科学者のデザイン原論，新曜社，1990年
- [5] B.J. フォッグ著，高良理・安藤知華共訳：実験心理学が教える人を動かすテクノロジー，日経BP社 2005年
- [6] Stanford Persuasive Tech Lab Resource <http://captology.stanford.edu/resources/>
- [7] エリック・リース：リーン・スタートアップ，日経BP，2012.
- [8] 川喜多二郎：発想法 改版 - 創造性開発のために (中公新書), 2017

### [Study outside of class (preparation and review)]

授業内容に関連するreading assignment、および、レポート課題を随時課す。

### [Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワー: 事前に担当教員にアポイントメントをとること

伊藤孝行

ito@i.kyoto-u.ac.jp

中村 裕一

yuichi@media.kyoto-u.ac.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。